

令和8年7月24日

保護者の皆様

八王子市立打越中学校
校長 三浦 壮次

道徳授業地区公開講座のお知らせ

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、本年度も道徳授業地区公開講座を実施いたします。打越中学校の普段通りの道徳の授業を是非ご参観ください。

授業の後、講演会を予定しております。また、保護者、地域の皆様と教師とが意見を交換する場（意見交換会）を設けます。つきましては、こちらにも多くの保護者の皆様のご参加をお願い申し上げます。意見交換会の準備のため、出席いただける方は、8月28日（金）までに下記のQRコードを読み取り、入力をお願い申し上げます。

記

- 1 目的 地域と学校が連携し、子どもたちの道徳的な成長を支えるために、道徳教育への理解を深める。
- 2 日時 令和8年9月19日（土）
《授業公開》 10時45分～11時35分（3校時）
《講演会・意見交換会》 11時45分～12時35分（50分）
- 3 講演内容 講演「良い子って何だろう？」
講師：本校スクールカウンセラー 竹川優子先生
感情発達から考える気持ちのコントロールについて一緒に考えていきます。良い子って何でしょう？自分の気持ちを伝えられない子どもたちもいます。果たして、子どもがどんな状態が心理的に安全なのでしょう。何を大事にして子育てをしていったら良いのでしょうか。助けてと言えない子どもたちもいる中で、援助要請の大切さや、それを受け止める側の大人の子どもへ理解を深めていく機会となると思います。ぜひ、足をお運びください。
- 4 場所 《授業公開》打越中学校 各教室
《講演会・意見交換会》は2F多目的室で行います。
- 5 お願い ・上履きをご用意ください。校内では下履きは袋に入れていただくか、お子様の下駄箱にお入れください。
・自動車でのご来校はご遠慮ください。

出席確認

QRコードを読み取り、8月28日（金）までに講演会・意見交換会への出席の入力をよろしくお願いいたします。



道徳地区公開講座 簡易指導案

令和8年9月19日(土)

授業者	各学級担任	教科	道徳
学年	1年	場所	各教室

□本時のねらい 学習指導要領【B6 思いやり】 主題名「不自然な独り言」

思いやりの気持ちを言葉にして素直に相手に伝えようとする「心」によって、今自分は相手に対してどう行動することができているのかを考え、結果として、自己と他者との心のきずなを強くするのだということに気づかせたい。

□生徒の実態・指導の工夫

中学1年生の段階では、「思いやりの心をもつ」とはただ人に優しくすることだと捉えている生徒や、相手の立場に立って物事を考えることがまだ容易ではない生徒もいる。一方的に思いやりの気持ちをもつだけでなく、相手の立場や気持ちに対する配慮と理解を深めていくことが大切であることに気づかせるとともに、改めて思いやりの心の大切さに気づき、誰に対しても温かいたわりの気持ちをもって接しようとする意欲を高めさせたい。

□主な学習活動「学習の流れ・学習内容・学び合い・授業改善（指導上の工夫）・評価等」

【導入】

発問1 「思いやり」とは、どのようなものだろうか。

○自分の思う思いやりについて積極的に発言させる。

【展開】

発問2 これまでに思いやりを行動にうつせた経験とうつせなかった経験のそれぞれどのようなものがあったかを思い出す。

○思いやりのある行動をしようと思ったけれど、できなかった経験を思い出し、班の中で共有する。

発問3 行動にうつせたときとうつせなかったときでどのような違いがあるでしょう。

◎発問2で出た経験を基に、なぜ行動にうつせたのか、なぜ行動にうつせなかったのかを考え、話し合う。（学び合い）

視覚障害者の誘導方法の動画を見る。

（視覚障害者のひとに出会った際、どのような「思いやり」のある行動ができるかを動画を通して学ぶ。）

【まとめ】

発問4 感じたこと、考えたことをまとめる。

所感

道徳地区公開講座 簡易指導案

令和8年9月19日(土)

授業者	各学級担任	教科	道徳
学年	2年	場所	各教室

□本時のねらい 学習指導要領【B7 礼儀】 主題名「あんパンとお礼状」
職場体験で地域の人々と関わることを通して、礼儀の意義を理解し、相手に対して尊敬や感謝の気持ちを具体的に表し、心と形が一体となった、時と場に応じた適切な言動をとろうとする心情を育てる。

□生徒の実態・指導の工夫

中学生のこの時期は「働くこと」についての意識はまだ実感が伴わず、職場体験に行っても、遊びの感覚や甘えがあるように見受けられる。また、受け入れてくれる職場はこの期間親身になって準備してくださっているということや、人と人をつなぐ礼儀の必要性についても十分に理解させたうえで体験に臨ませなくてはならない。お世話になった職場にお礼状を書くことも今後社会に出て生きていくうえで大切なことである。礼儀は、相手を人として尊重する気持ちであり、敬意をもって感謝の気持ちを表現し、時と場に応じて主体的に適切な言動をとるべきことであることを考えさせたい。

□主な学習活動「学習の流れ・学習内容・学び合い・授業改善（指導上の工夫）・評価等」

【導入】

「礼儀」について考える。

○「礼儀」はどんなときに必要なのだろうか。発表する。

【展開】

「あんパンとお礼状」を読み、「礼儀」について話し合う。

○「僕」は最初、職場体験が幼なじみの晴香の家に決まってどんな気持ちだったのだろうか。発表する。

○「僕」はお礼状をどんな気持ちで書いていたのだろうか。発表する。

◎「僕」が、心がチクリとするのを感じたのはなぜだろうか。班で話し合い、発表する。（学び合い）

○心と形が一体となった適切な言動をとることには、どのようなよさがあるだろうか。班で話し合う。

【まとめ】

礼儀について私たちにできることは何か。考えをまとめる。

○よりよい人間関係を築くために私たちにできることは何だろうか。

所 感

道徳授業地区公開講座 簡易指導案

令和8年9月19日（土）

授業者	各学級担任	教科	道徳
学年	第3学年	場所	各教室

□本時のねらい 主題名「私の四面鏡」

学習指導要領〔B 友情、信頼〕友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

□生徒の実態・指導の工夫

中学生の時期は、同世代により理解者を求め、互いに心を許し合える友達を得たいという願いが高まってくる。しかし、自分が傷つくことを恐れるあまり、自分を抑えて同調したり、表面的な言動で接することで最初から一定の距離をとったりする者も出てくる。

本資料を通して、相手に対する敬愛の念が根底にあればよりいっそう深い友情が構築されることに気づかせ、信頼を基盤として成り立つ友情が人間としての生き方の自覚を深めるうえで尊いものであることを理解させたい。

□主な学習活動「学習の流れ・学習内容・学び合い・授業改善（指導上の工夫）・評価等」

【導入】（5分）

友達について考えていることを出し合う。（アイスブレイク）

発問1 友達って何だと考えますか？

発問2 友達と意見が割れたときどうしますか？

●個人→近くの人→全体での共有（挙手・指名）

【展開】

・本文を通読する。（10分）

・指導者による内容説明。

「本教材の、主人公と友達との間に生じた、意見の違いをどのように消化していくか。その過程にはどのような葛藤があったのか。ということを通じて、自分たちの学校生活に落とし込み、『真の友情』とはどのようなものなのかを考えていきたい。」

●『僕』の行為は友道を裏切ったのか考える。（10分）

発問3 「僕」は友道を裏切ったとあなたは考えますか？

個人で考えた後Googleフォーム（道徳地区公開講座①）に入力。→各自ほかの人の意見に目を通し班で意見を交換する。【ICT】

●『真の友情』とは何かを考える。また、『真の友情』に必要なものは何かを考える。（10分）

発問4 『真の友情』とはどんなものだと考えましたか？また『真の友情』を築くために必要なものは何だと考えましたか？

個人で考えた後Googleフォーム（道徳地区公開講座②）に入力。→各自ほかの人の意見に目を通し班で意見を交換する。【ICT】

【まとめ】（10分）

●発問5 この授業を通して人間としての生き方や友達との関わり方についてあなたが考えたことをまとめよう。

個人で考えた後Googleフォーム（道徳地区公開講座③）に入力。→各自ほかの人の意見に目を通し班で意見を交換する。【ICT】

Google フォームは

Google classroom→3学年総合→授業→トピックフィルタ「道徳関係」を選択で見られます。

道徳地区公開講座①、②、③の順番で実施してください。当日8時に公開設定済みです。

所 感

道徳地区公開講座 簡易指導案

令和8年9月19日（土）

授業者	各学級担任	教科	道徳
学年	5組 1・2・3年	場所	A・B教室

□本時のねらい 学習指導要領【B8 感謝】 主題名 「ありがとうのメッセージをおくろう」

- ・「ありがとう」という感謝の気持ちの育成
- ・相手を信頼し、高め合っていく良い人間関係を築こうとする態度の育成

□生徒の実態・指導の工夫

・日常の人とのかかわりの中で、感謝の気持ちを育てることが、特別支援学級の生徒にとって、これからの人生を幸せに生きていくために大切である。素直な生徒が多いが、コミュニケーションを苦手とし、自分から感謝を伝えたりすることが苦手な生徒もいる。生きることについて深く考え、人とつながり、人より良い関係を築いていく方法を身に付ける必要がある。

□主な学習活動「学習の流れ・学習内容・学び合い・授業改善（指導上の工夫）・評価等」

本日の主題： 育ててくれた人に「ありがとう」のメッセージをおくろう。

【導入】（10分） 導入発問については、あらかじめformで意見を集める。

導入発問1：生きるってどういうことだと思う？

合唱曲：いのちの歌をきく。

歌詞の中で、「生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと 笑ったこと そのすべてにありがとう この命にありがとう」の歌詞に焦点を当てる。

導入発問2：人に助けてもらったのはどんなとき？

導入発問3：育ててもらったことを具体的にイメージする。

- ① かぜをひいたときどんなことをしてもらったかな？
- ② 泣いていたときにどんなことをしてもらったかな？
- ③ 毎日してもらっていることは何かな？

【展開】（30分）

- ・赤ちゃんのイラストの周りに色を塗ってみよう。
- ・歌の歌詞の朗読「生まれてきてくれてありがとう」（5分）
- ・子育てをしている先生から子どもが生まれたときの喜びやエピソードを聞く（5分）

質問：「ありがとう」と伝えたいと思うときはどんなときか。

- ・親に「ありがとう」の気持ちをメッセージカードに書こう。（20分）

【まとめ】ありがとうメッセージを発表する（１０分）

・この世に生を受けて生まれることは奇跡である。一人一人が大切な命であること、待ち望まれて生まれてきたことを伝える。

所 感